

民商会長

いわさわ健からのお礼

10月31日に行われた上越市議員補選の結果を受けて、上越民商会長である岩澤健より皆様へお礼の文章が届いていますのでご紹介します。

『10月31日の上越市議会議員補欠選挙に立候補しました、いわさわ健です。皆様からたくさんのご支援を頂きました。大差とはいえ16,184人もの皆様から投票して頂いた事実は変わりません。結果は残念でしたが共産党単独での票としては、これまでの最高の得票だとのこと。それだけ私に支持が広がった結果だと思えます。本当にありがとうございました。ご支持頂いた皆様に感謝しかありません。そしてご支持頂いた皆様の期待に応えられず本当に申し訳ございませんでした。上越市のコロナ対策、病院の統廃合、中小業者への支援など急務な政策がたくさんある中で、市議会で活躍できないのとても残念ですが、現職の共産党議員さんへの下支えで、ご支援頂いた皆様への恩返しをさせて頂きたいと思えます』 開票結果は以下の通りです。

| 氏名 | 年齢 | 党派/新現元 | 得票数 |
|--------|----|--------|--------|
| 菅原深雪 | 59 | 諸派・新 | 11,982 |
| 当 木南和也 | 42 | 無・新 | 62,167 |
| 岩澤 健 | 50 | 共産・新 | 16,184 |

立候補した女性候補は、聞いたことのないような政党からの出馬で、しかも新人ということで、失礼ですが泡沫候補扱いをしていました。ですが女性パワーは凄いものですね。男女同権、女性議員を増やそうという作用が働いたのかもしれない。1万票以上も得票されたのには驚きました。



地元6区の衆議院選挙と同様に、与党 VS 野党共闘の構図で闘い、衆議院選挙の方は僅か130票差で野党共闘候補が勝ちました。しかしながら、こちらに集中しただけの票は市議員補選には回って来ませんでした。これが野党共闘の歪みでもあり、難しいところでもありました。

国政選挙の結果からすると、与党(自公政権)は安定多数を獲得し、「安倍から始まった諸疑惑のみそぎも済んだ」「国民から信任を得た」ということで、国民は強引な強権政治を進める上でのお墨付きを与えてしまいました。政治とは正しいものが通る世界ではなく、数の多数による世界です。我々小規模事業者が望む租税応能負担の世の中もまた遠のいてしまいました。【消費税減税・消費税廃止】、【インボイス制

度の導入中止】【コロナ対策の拡充】【保健所・病院の統廃合中止】【原発再稼働中止】【米国からの武器爆買い中止】【辺野古新基地建設中止】【立憲主義の回復】などの願いは、来年以降の国政選挙で実現していく以外にありません。

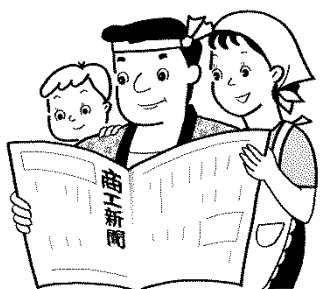
私たちの力は微力ではありますが、私たちの望む社会を実現するために、世論に働きかけ、共同の参画者を増やしつつ運動を進めていきます。

会員・読者の皆様のご協力も宜しくお願いします。

11月6・7日

拡大統一行動日

民商では、なかなか秋の運動の拡大が進まないことから、統一行動日を設けて一斉に組行動をすることにしました。6日の(土)〜7日(日)にかけて役員が中心となって対象者を訪問する予定です。商工新聞読者(1か月500円)の拡大が中心ですが、会員の紹介でも余計に嬉しいですし、共済会の加入(一人1か月1,000円)、婦人部(1か月200円)・青年部(1か月500円)の入部でもありがたいです。お伺いした際にはご協力を宜しくお願いいたします。



11月8日

支援金相談会開催

民商では、市の「第3次事業者経営支援金」や国の「月次支援金(10月分)」の相談会を下記の通り開催いたします。



11月8日(月)午後1時半〜 民商会館
※参加は予約制です
ので、当日までにご希望の方は民商まで電話下さい。